



2026 SUPER FORMULA RACE REPORT

FUJI SPEEDWAY

Rd.3 - 6 - 7

7.17[fri] - 19[sun]

[place] 富士スピードウェイ (静岡県小山町)

[weather] **fri** 雨 **sat** 曇り/雨 **sun** 曇り

[spectators] 56,000人(**fri** 3,600人 **sat** 22,700人 **sun** 29,700人)

Rd.1-2	MOBILITY RESORT MOTEGI	APR 3 - 5
Rd.3	AUTOPOLIS	APR 25 - 26
Rd.4-5	SUZUKA CIRCUIT	MAY 22 - 24
Rd.3-6-7	FUJI SPEEDWAY	JUL 17 - 19
Rd.8	Sportsland SUGO	AUG 8 - 9
Rd.9-10	FUJI SPEEDWAY	OCT 9 - 11
Rd.11-12	SUZUKA CIRCUIT	NOV 20 - 22

TOM'S

異例の3レース開催となった富士大会。
Round3で坪井翔が3位表彰台を獲得。
サッシャ・フェネストラズも5位入賞を果たす。



「2026年全日本スーパーフォーミュラ選手権 Round3・第3回瑤子女王杯 Round6・7」が7月18日(土)・19日(日)に富士スピードウェイで行われた。今大会は、悪天候で実施できなかったオートポリスでのRound3決勝レースの代替戦が組み込まれる変則スケジュールで開催。Round3で坪井翔が3位表彰台を獲得し、サッシャ・フェネストラズも5位に入って両者共にポイントを獲得。続くRound7でも坪井が4位に入り、着実にポイントを積み重ねた。

RESULTS

Round 3
グリッド 6位 | 決勝 3位

Round 6
予選 21位 | 決勝 15位

Round 7
予選 5位 | 決勝 4位

Rd. 3	Rd. 6	Rd. 7
QUALIFYING 1		
P11 (B Gr) 1'34.287	P2 (B Gr) 1'23.253	
QUALIFYING 2		
-	P5/1'23.321	
RACE		
P3/1'24.760	P15/1'25.233	P4/1'25.086

STANDINGS
DRIVERS 6位 | TEAMS 2位

36 坪井 翔 | SHO TSUBOI
VANTELIN TEAM TOM'S

RESULTS

Round 3
グリッド 4位 | 決勝 5位

Round 6
予選 16位 | 決勝 11位

Round 7
予選 14位 | 決勝 13位

Rd. 3	Rd. 6	Rd. 7
QUALIFYING 1		
P8 (A Gr) 1'34.559	P7 (A Gr) 1'24.287	
QUALIFYING 2		
-	-	
RACE		
P5/1'25.517	P11/1'25.186	P13/1'25.068

STANDINGS
DRIVERS 7位 | TEAMS 2位

37 サッシャ・フェネストラズ | SACHA FENESTRAZ
VANTELIN TEAM TOM'S

QUALIFYING

Rd.6 天候:曇り | 気温:23℃ | 路面温度:26℃ Rd.7 天候:曇り | 気温:26℃ | 路面温度:30℃



通常は、土日の各日で予選と決勝を行うが、変則スケジュールのため18日(土)に2戦分の予選が行われた。8時15分から始まったRound6予選は、前日まで降り続いた雨の影響でウェットコンディションとなっており、雨用のウェットタイヤを装着してタイムアタック。思いのほかペースを上げることができず、フェネストラズはAグループ8位、坪井もBグループ11位に終わりQ1敗退となった。10時35分から行われたRound7予選は、路面が乾き、スリックタイヤでタイムアタック。ここで坪井が上位につける走りをみせて5番グリッドを獲得した。フェネストラズは僅差でQ2進出を逃したが、14番グリッドから追い上げを目指す。

RACE Rd.6

天候:曇り時々雨 | 気温:25℃ | 路面温度:29℃

16時15分から41周で争われたRound6決勝では、途中で雨がパラつくなど不安定な天候のなかでレースが進んだ。2台とも後方グリッドから追い上げを狙ったが、坪井はピットストップで時間を要したことも影響し15位。フェネストラズは最終盤までポイント圏内を走行していたが、最終ラップでライバルの先行を許して11位となった。



RACE Rd.3

天候:曇り | 気温:29℃ | 路面温度:34℃

オートポリス大会の代替戦であるRound3決勝は、レース中のタイヤ交換義務はなく、25周で争われた。途中で2度のセーフティカーが入る波乱の展開となったなか、2台ともに力強い走りをみせ、坪井は3位フィニッシュで今季2度目の表彰台。フェネストラズは4番グリッドからスタートし、ひとつポジションを下げて5位となったが、2台揃ってポイントを獲得した。



RACE Rd.7

天候:晴れ | 気温:29℃ | 路面温度:36℃

15時15分から行われたRound7決勝(41周)だが、フォーメーションラップ中に他車から漏れたオイル処理のため、スタートが約1時間遅れることとなった。5番グリッドからスタートした坪井は、前日の課題だったレースペースを改善してトップを争うライバルを追いかける走りを披露。21周目にタイヤ交換を済ませ、後半にはオーバーテイクも決めて4位入賞を果たした。フェネストラズも27周目にピットストップをする戦略でポイント圏内を目指したが、一步届かず13位でレースを終えた。



Driver
坪井 翔

Round3はスタートで出遅れたのですが、そこから挽回して最終的に3位に入ることができました。Round6は決勝ペースがあまり良くなかったですが、しっかり改善して、トップ集団についていくことはできたと思います。とはいえ、優勝するにはもう一歩足りないと思っています。その流れでRound7も自分たちのパフォーマンスを最大限に発揮することはできましたが、それ以上にライバルが速かった印象でした。

Driver
サッシャ・フェネストラズ

Round3は5位でフィニッシュできましたが、パフォーマンスとしては満足ではない印象でした。Round7も同じような状況で、特にレース前半のペースに苦しみました。でも、後半から終盤に関しては良かったと思います。次戦のSUGOは、僕たち37号車は昨年素晴らしいレースができたサーキットです。今大会で起きたことをしっかり分析して、次戦に臨みたいと思います。

Team Principal
館 信秀

Round6は坪井のピットストップで少し時間を要したところもあり、レース中のペースも十分ではありませんでした。悔しい結果に終わりましたが、そこを改善して臨んだ代替戦のRound3では坪井が表彰台に上り、サッシャもポイントを獲得できたのは良かったです。3レース目のRound7も、坪井が一生懸命に追いついて、よく頑張ったと思います。ただ、ライバルとの差がある状況なので、その差を何とか埋めなくてはいいなと思っています。次戦もたくさん応援をよろしくお願いいたします。



バンテリン

